

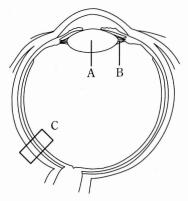
2022年度 杏林大学医学部 一般

入試問題 2022年1月21日実施

YMSの「杏林大学入試予想」から 入試問題がズバリ的中!

実際の入試問題

問 1 図1はヒトの眼を模式的に表している。



水平断面を上から見たところ

図 1

③ 図1のCの部位の網膜において眼球の中心部に最も近い位置にある細胞は何か、最も適 切なものを $\mathbf{0} \sim \mathbf{0}$ から1つ選べ。

① 色素細胞

③ 視神経の細胞

4 連絡神経細胞

「網膜の細胞の 配置について」 的中!



2022年度YMS 杏林入試予想

- 間2 光受容に関する次の文章のうち、正しいものを1~5から選べ。
 - 1. かん体細胞は、黄斑にとくに多く分布している。
 - 2.網膜は、ガラス体側から、視神経細胞、視覚情報を中継する連絡細胞、視細胞、 色素細胞の順に並んだ構造をしている。
 - 3. 明順応の過程では、かん体細胞における色素合成が必要となるため、暗順応よ りも時間がかかる。
 - 4. 盲斑では、1つの視細胞あたりの光の量が少なくなるので像ができない。
 - 5. ヒトが感知できる光の波長範囲は $260 \sim 700$ nm である。